

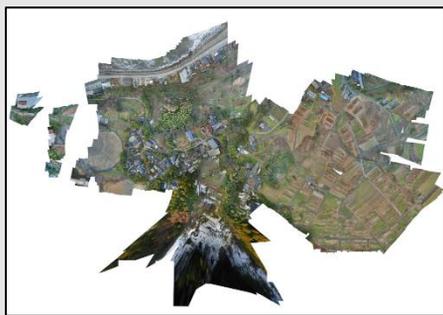
# 株式会社ACSL

## 支援内容①

### 地滑りの兆候がある地域における調査

1月9日、11日～12日 輪島市稲舟町

稲船地区の広い範囲において地滑りの可能性があり、避難勧告が出ている。地滑りが起きると多数の災害復旧に主要な役割を果たす幹線道路が広範囲に寸断されるため、応急処置が必要か初期的判断が必要となり、SOTEN(蒼天)による補助者なし目視外飛行(レベル3相当)を実施。オルソ画像を作成することで、地割れの全体像を把握し初期調査に貢献。



作成したオルソ画像

## 支援内容②

### 漁港の被害状況の調査

1月10日～14日

10日:南志見地区、11日:鵜入地区、12日:仁岸小学校、あぎし近辺、13日:町野地区、14日:光浦漁港、深見漁港

孤立地域への海運を検討するも、漁港の被災状況が分からない状態のため、SOTENで早期調査を実施。被災状況の把握を行った。



作成したオルソ画像

## 支援内容③

### 仮設住宅建設予定地の被災状況の調査

1月10日、12日～13日

10日:南志地区2か所、12日:仁岸小学校、あぎし、13日:町野地区2か所

仮設住宅建設候補地は広範囲に渡ることから、地割れ等の被害がないかSOTENで撮影をし、合計で6か所の被災状況の把握を行った。気温は氷点下、降雪、強風という悪天候の中で撮影を行う日もあったが、SOTENを飛行させ、問題なく撮影を完了。撮影画像からオルソ画像を作成し、状況把握を行った。



悪天候の中SOTENを飛行させる様子



作成したオルソ画像

## 企業における災害への取り組み

ACSLは、「技術を通じて、人々をもっと大切なことへ」というミッションの通り、災害時に対応する自衛隊や地方自治体や企業が抱える課題を当社の技術を通じて解決したいという思いから、ドローンを活用した被災地支援を積極的に行ってまいりました。過去にも、東京都からの要請で2019年10月の台風被害の際、孤立状態の集落への緊急物資輸送を実施したり、陸上自衛隊東部方面隊との協定に基づき、2021年の熱海市伊豆山で発生した土石流災害への支援を行いました。

今回の能登半島地震の被災地での活動により、危険な場所や孤立した地域などの広範囲な調査におけるドローンの有用性を確信するとともに、いかに早期に調査を実施できるか、悪天候の中でも安全に飛行できるか、そして、現地支援のために行うものであるからこそ不測の事態が起きてインシデントを起こさないということが、被災地におけるドローンの活用において重要であることを痛感いたしました。

ACSLは、今までに積み重ねてきたドローンによるレベル3、4での現場支援の経験を活かし、今後も被災地支援の活動を積極的に行っていくとともに、被災地でも安全に活用いただける国産ドローンの開発に尽力してまいります。